

## 試合結果報告 (GAME REPORT)

大会名称/Title:	第 22 回日・中・韓ジュニア交流競技会 バスケットボール競技 男子	
会 場/Venue:	一関総合体育館 UDーム	
期 日/Date:	平成 26 年 8 月 26 日 (火) 13:30~	試合区分:

【 試合結果 】			
<b>日本</b>	<b>106</b>	$\left( \begin{array}{r} 26 - 10 \\ 28 - 8 \\ 26 - 8 \\ 26 - 22 \\ - \end{array} \right)$	<b>48</b>
( 2 勝 0 敗 )			<b>岩手</b>
			( - 勝 - 敗 )

### 第 1 ペリオド

日本 #5 長谷川、#7 中村、#9 尾形、#12 秋山、#14 高橋、岩手 #4 杉内、#9 大西、#11 千葉、#12 沼倉、#13 平賀でスタート。日本は素早いパッシングから #9 尾形の 3P、#5 長谷川のドライブ、#8 鳥羽のミドルシュートなどでテンポ良く得点を重ねる。対する岩手は日本の激しいプレッシャーディフェンスの前にリングへ向かうことが出来ず 5 分間ノーゴール。#13 平賀などが何とか得点するが、26-10 と日本が大きくリードし、1 ペリオドを終える。

第 2 ペリオドに入っても、日本のプレッシャーの前に岩手が攻めきれない状況が続く。岩手はディフェンスをゾーンに変えるが、日本は落ち着いてプレーし #9 尾形のカットイン、#7 中村の 3P、#11 波多のファーストブレイク、#14 高橋のインサイドプレーなどで次々と得点していく。逆に岩手は日本のゾーンプレスに対してミスが増え、苦しい展開になる。#7 今野が 3P を決め点数をつなぐが、54-18 と日本がリードを広げ後半戦へ。

### 第 3 ペリオド

出だし、岩手はゾーンディフェンスを続けるが、日本は #14 高橋の連続得点で幸先良いスタートを切る。アウトサイドからのシュートの確率が上がらない岩手に対し、日本は岩手のシュートミスを実際にブレイクにつなげ、#11 波多、#10 鶴巻らが得点していく。岩手も #9 大西らが負けじと得点するが流れは変わらず、80-26 と日本がリードを広げ最終ペリオドへ。

第 4 ペリオドへ入ると岩手は #13 平賀、#7 今野の連続 3P、#8 山崎のゴール下、#6 柳沢のバスケットカウントなどで意地をみせる。しかし日本も #8 鳥羽のスティールからのレイアップやドライブ、3P などの活躍で流れを渡さない。岩手もあきらめずにリングへ向かうが、最後まで攻撃の手を緩めなかった日本が 106-48 と大差をつけ岩手を下した。

担当者: 岩手県高体連バスケットボール専門部 所属: 千葉 紘平